

大統領選挙の結果、連邦下院科学・宇宙・技術委員会の委員が大幅変更の見通し（11月7日）

11月6日に行われた大統領選挙の結果、連邦議会下院の科学・宇宙・技術委員会（Committee on Science, Space and Technology）では、退職を含め、委員会全体の4分の1にあたる10議員が現職を去ることとなった。

また、現委員長であるラルフ・ホール下院議員（Ralph M. Hall、テキサス州選出共和党）の委員長任期更新も現行の下院規則では認められていないため、新たな委員長が任命される見込みである。

同委員会は米航空宇宙局（National Aeronautics and Space Administration : NASA）やエネルギー省科学局（Department of Energy' s Office of Science）を始めとする科学技術関連省庁を統括しており、幅広い政策の方向付けや監視を行うなど重要な役割を果たしている。

現在、同委員会の構成は、共和党23議席、民主党17議席の合計40議席となっているが、このうち共和党の1議席と民主党の3議席は空席となっている。

なお、議席数の構成は2013年1月に下院議会が召集された段階で変更される可能性はあるが、共和党が過半数を占めることに変更はない。

Science Insider, U.S. House Science Committee Set For Big Turnover

<http://news.sciencemag.org/scienceinsider/2012/11/us-house-science-committee-set-f.html>